



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2022年8月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

L T (Leadership Training)

— 主題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事
北海道部部长
札幌クラブ会長

「フェローシップとインパクトで次の100年へ」
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
「未来に向けていますぐ行動しよう」
「出来ることから今すぐ行動しよう！」
「Sustainable Y~中学生、高校生、ユースとともに~」

Samuel Chako(インド)
Chen Ming Chen(台湾)
佐藤 重良(甲府21)
小谷 和雄(札幌北)
伏木 康(札幌)

札幌クラブ役員

会長 伏木 康
副会長 中田 靖泰
書記 小野 健
会計 秋葉 聡志
直前会長 柴田 伸俊

今月の聖句

「わたしの愛する兄弟たち、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。人の怒りは神の義を実現しないからです。
ヤコブの手紙1章19~20節 (秋葉 聡志選)

SDGsについて思うこと

宮崎 善昭



世の中SDGsブームである。国会議員や大企業社のお偉いさんがこれ見よがしにSDGsバッジをつけている。日本語訳では「持続可能な開発目標」ということになるらしい。これを達成するために17のゴール(目標)と169のターゲットを掲げている。どの項目を見てもなるほどと納得してしまう内容である。

んなエネルギーを開発すればそうなるのかは、まったくイメージがわいてこないし不可能ではないかとさえ思ってしまう。

SDGsの内容は、理想に満ちていて、夢もあるかもしれないが、一部の国や地域、企業のためだけにならなければよいがと考えてしまうのは年齢によるやぶにらみでしょうか。

しかし、私は当初から「持続可能な開発」という言葉に違和感を持っている。現実的に持続可能な開発をなんてあり得るのだろうか?という疑問である。持続可能ということはリサイクルするシステムを構築することではないかと考えているからである。

開発は、スパイラルにはなってもリサイクルにはならない。つまり持続可能と開発という言葉は私にとって自己矛盾を孕んでいることになる。開発することによって環境や生活は変化し続け、変化に伴う新たな問題や課題が生まれ続ける。これを永遠に繰り返すことをもって持続可能というのは何かおかしいと思うのである。

より良い環境どころか、より環境は悪化するのではないかとさえ思ってしまう。7番目の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」なんて全全世界規模で



以下が宮崎君が悩んでいるSDG17ゴールです。皆さんも一緒に悩んであげてください。(編集部)

目標1 貧困をなくそう 目標2 飢餓をゼロに
目標3 すべての人に健康と福祉を 目標4 質の高い教育をみんなに
目標5 ジェンダー平等を実現しよう
目標6 安全な水とトイレを世界中に 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
目標8 働きがいも経済成長も 目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう
目標10 人や国の不平等をなくそう 目標11 住み続けられるまちづくりを
目標12 つくる責任 つかう責任 目標13 気候変動に具体的な対策を
目標14 海の豊かさを守ろう 目標15 陸の豊かさを守ろう
目標16 平和と公正をすべての人に 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

2022年7月例会
出席報告

在籍会員 9名
例会出席者 9名
ゲスト 0名
出席者合計 9名

メネット 0名
メーキアアップ 0名
(内リモート 1名)
出席率 100%

札幌ワイズメンズクラブ 2022年8月例会

日時：2022年8月23日(火) 18:30~20:30
会場：北海道YMCA 101 教室+リモート
会費：500円 (弁当なし)

プログラム

- | | | | |
|-------------------|-------|-------|---------|
| | 司会 | 小野 健 | |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 伏木 康 | |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | | 全 員 | |
| ③ 今月の聖句 & なぜこの聖句を | | 秋葉 聡志 | |
| ④ 開会あいさつ | 会長 | 伏木 康 | |
| ⑤ 誕生日 札幌 | 8月25日 | 北川 綾子 | |
| | 8月27日 | 安田 文子 | |
| | 札幌北 | 8月 9日 | 義村 小夜子 |
| | 8月15日 | 工藤 真弓 | |
| ⑥ 結婚記念日 | | | |
| | 札幌北 | 8月13日 | 藤田寛・留美子 |
| ⑦ 卓 話 | | | |

疑問の多い時代、待つか、変えるか

イエル・紗知様

イエル・ヴァインセント様

ニセコエリア マウンテンバイク協会

- | | |
|----------|--------------|
| ⑧ 諸報告 | |
| ⑨ YMCA報告 | 担当主事 北川 佳治 |
| ⑩ 北クラブ報告 | 北クラブ会長 小谷 和雄 |
| ⑪ 今月の歌 | |

「あざみの歌」

(柴田伸俊選)



- ⑫ 閉会あいさつ

札幌クラブ会長 伏木 康

札幌ワイズメンズクラブ7月例会記録

日時：2022年7月19日(火) 18:30~20:30
出席：柴田・北川・中田・伏木・宮崎・山崎
(リモート:小野・安田)・トラ(ユース)
7月例会は卓話者の都合が急に悪くなり、会員がそれぞれの近況などを語りあった。社会人リーダーで週末に野外活動を手伝っているトラが参加してくれた。(伏木康会長 記)

卓話者紹介

★ イエル・紗知

札幌出身、YMCA 英語コミュニケーション学科の卒業生。現職、EZObase という留学会社と英会話スクール運営。評議員として自宅近くの老人ホームにてボランティア団体を設立。NPO 法人ニセコエリア・マウンテンバイク協会。

★ イエル・ヴァインセント

カナダ モントリオール郊外出身。北海道の冬に魅せられ来札、妻を見つけ定住。北海道に夏の身近なアクティビティが無いと考え、欧米豪で人気があるマウンテンバイクの振興活動を事業としてスタート。マウンテンバイクのコース作り、インストラクター、コース造成地の開拓に奮闘中。

★ マウンテンバイクとは?

1970年代後半にサンフランシスコ郊外のマリナー郡で、ヒッピー達が始めたと言われている。その後、全世界に広がり、世界選手権も開かれ、1996年のアトランタ・オリンピックでは、自転車・マウンテンバイク・クロスカントリー男子/女子が正式種目として認められる。日本でも1980年代から各地で大会が開かれ、マウンテンバイク協会が作られ、優秀な選手も育ち、世界各地の大会に選手を派遣し、優勝などもしている。

北海道部チミケップキャンプ・ワーク

7月16日(土)、今年もYMCAチミケップ国際キャンプ場のオープンに先駆けてワイズのキャンプ場整備のワークが行われました。(残念ながら、コロナ禍のため、アメリカ、ロシアなど外国の参加はありません。)小谷北海道部長の呼びかけに応じて全道各地から大勢のワイズメン、リーダーOBが集まり、広いキャンプ場も忽ちのうちに見違えるほど綺麗になりました。(p.3参照。)

ワーク参加者名簿:

- ワイズメン:** 札幌北クラブ: 小谷和雄
札幌クラブ: 柴田伸俊、柴田邦子メネット、中田靖泰、伏木康(ロクジ)
北見クラブ: 斎藤志栄子、山田剛、竹口裕司、大沢偉和夫、小林武史、新本卓生、十勝クラブ: 川口豊、中村義春、山下眞
リーダーOB: 関泰光(モンペ)、澤田(jiro)、山田圭祐(すけちゃん)、中上朝樹(ズリ)
(カッコ内は昔のキャンプネームです。)

なぜこの聖句を! 秋葉 聡志

ノンクリスチャンであった若かりし頃、あるワイズメンから教えられた聖句です。当時は担当していたプランチが組織的に混乱していて、傍から見て怒りが見て取れたのでしよう。

以来この聖句は座右の銘になりました。年齢を重ねるほど短気になる自分を鎮めてくれます。後年、そのワイズメンに思い出話をしたら、覚えていませんでした。(涙)

「チミケップ・ワーク」 2022年7月16日(土)

北見駅から市街地を抜け舗装されていない山道を走ると津別町のチミケップ湖が見えてきます。道外、海外の方は女満別空港からアクセス可能なこの湖のこと皆さんご存じですか？この湖畔に[北海道 YMCA チミケップ国際キャンプ場]があります。

2024年に60周年を迎えるのですが、施設が老朽化しているためメンテナンスが大変です。日頃は北見の皆さんに維持管理をお願いしているのですが、年に1度北海道内のワイズメン有志が集結してキャンプシーズンがスタートする前にワークを実施、今年は7月16日(土)に行われました。

札幌から約300kmで携帯も繋がらないですが、この自然環境の素晴らしさを体験してください。

今年のワークの主なものは、

- ① 砂利を入れて波うち際を作り幼稚園児も水遊び出来るようにする。
- ② 場内に溜まった落ち葉、ごみなどを取り除き清掃。
- ③ ペンキが剥落した箇所を補修等々でした。(伏木 康記)

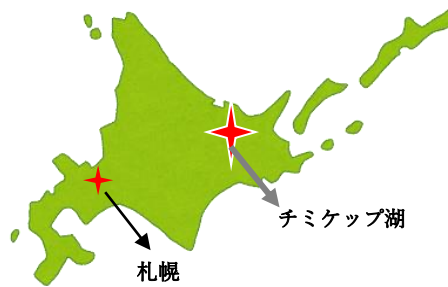
写真右：

元学生リーダーの面々。

毎年戻ってきてチミケップを支えています。50年経っても呼びあうのは今でもキャンプネーム。

左から、伏木(ロクジ)中上(ズリ)、関(モンベ)、沢田(jiro)。

カッコ内は懐かしい昔のキャンプネームです。



写真上： 去年の秋から積もった落ち葉を集めるだけで大仕事でした。キャンプ場がすっかりきれいになりました。



↑ 写真上：

ワーク開始前 桟橋に並んで

天気予報では(道東は雨!)でしたが、運よく降らず、暑からず、絶好のワーク日和でした。地元北見のワイズメンに加え、はるばる帯広、札幌からも大挙ワイズメンが駆けつけました。

左端が伏木札幌クラブ会長、右端が小谷北海道部部長です

左から、伏木、山下、中村、新本、大沢、竹口、中田、柴田、柴田メネット、川口、中上、関、小谷。

前に片膝ついているのは沢田。

← 写真左：

戦い終わり、マイクキャビンの前で

キャンプ場を掃き清め、ペンキを塗り直し、砂利を運んで渚を埋めて遊び場を作り、受け入れ態勢は万全です。今年はコロナでマイクはアメリカから来れませんでした。来年はこの写真の中にいることでしょう。

後列左から、斎藤、山田(剛)、川口、中村、山下、伏木、前列左から、山田(すけちゃん)、関、沢田、中上、柴田、柴田メネット、中田、竹口、大沢、小林。

チミケップ湖とは？

北海道東部、オホーツク管内網走郡津別町字沼沢にある湖です。約一万年前に地殻変動による崖崩れで谷がせき止められてできたと考えられています。ヒメマスやウグイ、マリモ等が生息しています。

チミケップ湖は阿寒湖と共にヒメマスの原産地です。この二つの湖のヒメマスが支笏湖や十和田湖などに放流されて自生しています。

「チミケップ」の名称はアイヌ語に由来し「山水の崖を破りて流下する処。チミは分るの意」。「チミケプ(cimi-ke-p)」(分ける・削る)で、本湖から流出するチミケップ川上流の峡谷の姿を表しています。(異説あり。)

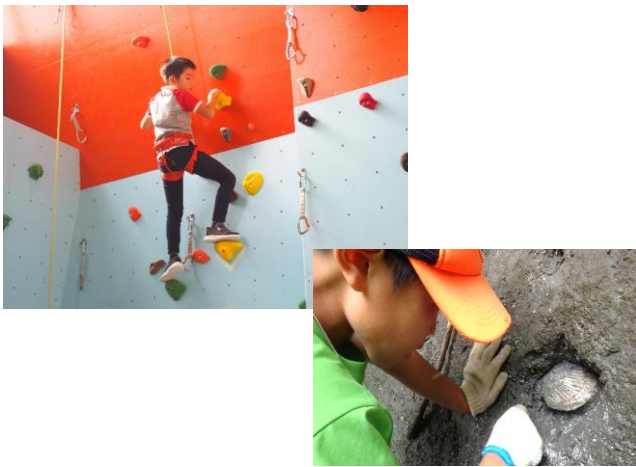
YMCAニュース 担当主事 北川 佳治

■短期集中サマープログラム報告

7月26日から順次開始された札幌YMCA短期集中サマープログラムでは、キャンプをはじめ、アクアティック、ジムナスティック、スクール、学びのプログラムなど、子ども達の夏休みを応援する体験活動が盛り沢山でした。

新型コロナウイルスの第7波が生じた時期ではありましたが、種々感染対策を講じつつ、総勢1,300名程の子ども達の思い出作りと成長の機会を守ることができました。

来年は、新型コロナウイルスの影響が少しでも収まっていることを祈りつつ、今年よりも更に磨きをかけたラインナップを用意していきます。



■YMCA チャリティイベントのお知らせ

来る9月18日(日)に国際協力募金活動として、下記の内容でチャリティイベントを開催します。本イベントの益金の主な用途は、ベトナムの教室建設およびウクライナ支援となります。時間等の詳細は、改めてお知らせ致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ビンゴ大会・水泳プライベートレッスン・
スポーツイベント・eスポーツ大会
ゲームコーナー・ベトナムグッズ販売 等

写真下： 昨年のイベントのフェアトレード販売



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかる
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。

札幌ワイズ7月事務会記録

日時：2022年7月26日(火) 19:00~20:00(meet)
出席：伏木(長)・秋葉・小野・柴田・中田・宮崎

1. **8月プリテン内容** 執筆分担別紙参照。

原稿締切：8月14日(日)発行予定：8月15日(月)

2. **8月例会・事務会**について：

・**例会** 日時：8月23日(火) 18:30~20:30

※対面&リモート 場所：YMCA 101号室

食事：会費/500円 弁当なし、飲み物のみ用意
卓話者：Vincent Yelle・Sachi Yelle ご夫婦

(タイトル、プロフィール今月中に着信)

・**事務会** 日時：8月30日(火) 19:00~20:00

3. **9月例会内容**について

・場所：札幌YMCA (当初、汝羊寮を予定していたが北ワイズとの合同で手狭なので。)

・卓話 第一候補「ももんがクラブ」の吉元さん
・吉本さんが都合悪い場合の候補として、チミケツ
ワーク参加のリーダーOB ジロウ、モンペ。

・中央区選出の中川賢一市議等で検討する。

4. **10月例会**の内容について： ・ベトナム PHD ユンさんと繋いで現地レポート。通訳を小野メンに。
小野メン8月~10月1日まで海外出張。継続検討。

5. **9月第二例会**について

伏木会長・山崎会員の発案により、9月10日(土)に第二例会として滝川市在住の世界的彫刻家・デザイナー五十嵐威暢のギャラリー+アトリエ「かぜのび」の「かぜのびツアー」をできないか提案あり。拡大してYの会員にも声をかけるか？

・会員まで拡大する場合、対象、内容、スケジュール、マイクロバス・運転手の手配、等々様々の調整が必要。再度伏木会長、山崎会員で検討。

6. **ピアノ・チェロコンサート**について

・12月7日(水) キタラ小ホール予約済み。

・細目は伏木会長、安田会員で打合せを進める。

7. **ウクライナに寄り添うユース例会**の検討

・YMCA 同盟や東日本区等から教材、コンテンツを入手し、簡単なウクライナの言葉を理解、グループ分けしてフリーディスカッション、アイチフーズに作ってもらったボルシチを食べながら、バンドウーラの音楽を聴き、高校生以上のユースと交流する。このような例会ができないかとの伏木会長から提案あり。・ワイズ例会で対象を狭めるよりも、11月3日開催のYMCA 会員大会のテーマとして検討してはどうか。伏木会長から自身所属しているYMCA 会員活動委員会にて提案してもらう。

10. ユースの道外派遣について

▼ IYC (インターナショナル・ユース・コンベンション) ・9月4日~9日 タイ・チェンマイ

▼ 東日本区より2名派遣予定。・秋葉より専門学校あて打診したが、該当者なしとの回答。リーダー、スタッフの可能性を探る。

▼ 東日本区ユースボランティアフォーラム

・9月30日~10月2日 2泊3日

@山中湖 案内未着

以上

記録者：秋葉